

おおぞら 議会だより

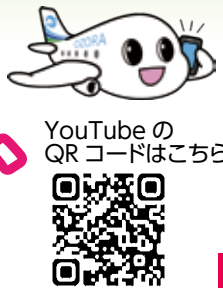
CONTENTS

6月定例会を開催	2
議員6名が一般質問	6
①仲西議員	女満別研修会館の建て替えについて
②川村議員	大空高校生に対する大学等進学支援制度の創設について
③上地議員	人口減少対策の取り組みについて
④森賀議員	町政執行方針について
⑤岩原議員	持続可能な地域医療体制の確保について
⑥鈴木議員	暮らしを支える専門技術人材の確保について
臨時会	12
議員研修会に参加	13
まちづくり出前トーク	13
所管事務調査	14



「大空町商工会青年部猛暑対策事業」かき氷無料配布の風景
(30℃以上の日を目安に高校生以下の子どもたちと同伴の保護者を対象に配布)





YouTubeのQRコードはこちら

令和8年
6月定例会
6月24日～25日

令和8年度一般会計予算は
2億4,914万5千円を増額、
総額は99億6,835万円に

大空町議会6月定例会では、政策予算などの補正予算等について審議しました。

当初予算と政策予算を合わせた令和8年度の予算については、「広報おおぞら」8月号に掲載されていますので、ご覧になってください。

人事案件

農業委員会委員の任期（3年間）が、令和8年7月19日で満了するため、24人の任命について、同意しました。

物品の購入

水道メーター器（更新用）を購入することについて、可決しました。

工事請負契約

女満別小中学校・女満別学校給食センターLED化工事、大空町社会教育センター改修工事（電気設備）の契約締結について、可決しました。

計画の一部変更

過疎対策事業債の充当を予定している2事業を大空町過疎地域持続的発展市町村計画に追加することについて、可決しました。

規約の変更

国営畑地かんがい事業斜網地域維持管理協議会の負担金の支弁方法を変更する規約の変更について、可決しました。

条例の一部改正

大空町再生可能エネルギー発電施設の設置に関する条例の一部を改正する条例制定など6条例の一部改正について、可決しました。

補正予算

令和8年度一般会計のほか、2特別会計・1企業会計の補正予算について審議し、可決しました。

補正予算の主な質疑

福祉会補助金

上地議員

女満別・東藻琴両特別養護老人ホームの整備に係る補助金のことですが、詳細について伺う。

福祉課長

女満別特別養護老人ホーム整備事業補助金の内容としましては、真空式温水ボイラーの更新、ナースコール設備の更新、消防設備などの改修費となります。一部の事業については進行中ということもあり、利用者への影響がないように速やかに改修を行っていただくこととなっています。

また、東藻琴特別養護老人ホーム整備事業補助金の内容としましては、外壁工事の経費の一部について町の補助金を充てるといふものです。

空き家等解体撤去推進事業

上地議員

工事請負費に、行政代執行廃屋等解体撤去工事とあるが、今後の予定など詳細について伺う。

住民課長

工事請負費については、女満別地区の特定空き家としています土地、建物です。今後のスケジュールとしましては、すでに特定空き家

として指定していますので、今後、然るべき事務手続きをし、11月中には行政代執行ができるよう事務を進めるとともに、かなり危険な状況となっていることから、早期に解体できるよう、所有者による解体や第三者が相続をし解体するなど、そのようなことも並行しながら進めていきます。

空き家等解体撤去推進事業

鈴木議員

行政代執行の関係で工事費が計上されていますが、所有者の方の解体、売買関係で所有した方の解体も含めて並行して対応するという解釈でいいのか伺う。

住民課長

この判断に至った経過としては、見るからにもう危険であるというリミットが来ているという判断のもと、このような形をとらせていただきました。所有者が解体すると、もしかすると早期に解体できるかもしれないですし、そういうことも含めながら、様

々な方策を進め、リミットとしては雪の降る前、11月中に解体をしていきたいというふうに考えています。

橋梁補修等事業

森賀議員

橋梁補修工事の中の三線橋の補修工事はどのような工事を行うのか伺う。

建設課長

東藻琴末広地区の三線橋については、定期点検の結果、老朽化による修繕が必要とのこと、定期的にを行う一般的な修繕工事となります。

社会教育センター

福田議員

備品購入費の陸上競技用ゴムマットについて、寄附での購入ということですが、この団体に向けての寄附になっているのか等詳細について伺う。

生涯学習課参事

寄附については、陸上競技に関する普及振興ということであるかと応援寄附金でい

ただくと聞いています。その関係で、受け皿となる団体として、大空町には陸上協会があります。陸上協会と相談させて

いただいた中で、大空町には、全天候型の陸上競技場がないので、社会教育センターの外の陸上競技場にゴムマットを整備し設置することによってスパイクを使用した練習が可能ということ、練習効率が上がり競技力の向上や陸上競技の普及にもつながると考えています。

多世代交流複合施設整備事業

岩原議員

基本計画策定支援業務委託料というのがあります。スケジュール等を含め、内容について伺う。

まちづくり推進室長

施設整備の基度考え、それ以外に関して導入機能と規模、配置計画という部分を委託にかけるというものです。内容的には、どのような

施設の中身が大枠で、理解してよろしいのでしょうか。いろいろな団体、利用者の聞き取りなどは、基本計画の後の実施計画になったときに行っていくのか伺う。

まちづくり推進室長

団体にも意見をお聞きしている状況です。この施設を利用していただく、高齢者の方や、小学生、中学生、高校生などの意見も聞きながら、今現在進めています。関係団体や

利用者の皆さまのご意見をいただきながら、導入機能や施設の規模の整備、整理をして、基本計画をもとに次の段階の実施設計に進みたいと思っています。基本計画は、事業の方向性と規模を決定づけるイメージで考えています。

地域ブランディング事業

森賀議員

食のブランド力向上のため、地場産品を使用した特産品の開発に補助することですが、具体的に決まっていることがあれば、その内容について伺う。

まちづくり推進室参事

町内で地場産品の製造加工販売等を行う事業者に対して、町内の地場産品を使用した新たな商品を開発する事業を応援する補助金です。

まちづくり推進室参事

町の認知度向上、また、町内事業者による新たな地場産品を通じて、最終的には、新規返礼品などにも登録できればと考えています。

今年度は外向けの事業を行うのかなと感じます。ただ、同時に内向けの事業も進めな

地域ブランディング事業

川村議員

今年度は外向けの事業を行うのかなと感じます。ただ、同時に内向けの事業も進めな

まちづくり推進室参事

大空町の魅力や他市町村との差別化を行い、その活用として、「見ていたい空がある、ひとがいる。北海道大空町」というコピー及びロゴを作成しました。

まちづくり推進室参事

今後、このコピーとロゴを展開しながら、大空町のブランディング戦略を進めていく構想です。



水産業振興事業

岩原議員

問 今年のシジミ漁が思わしくないと、町で情報等があれば状況について伺う。

産業課長 現状についてですが、昨年の9月、11月、12月に大変強い風などが吹き、網走湖では青潮が発生して、様々な被害があったというふう

に認識しています。

シジミについても被害がありまして、水深の特に深いところでは、へい死が確認されているところ

LED化

大泉議員

問 LED化にすることによって、今までよりどれくらい経費が浮くのか伺う。

定例会

防風保安林の伐採

原本議員

問 防風保安林の伐採、整備について、3年間ぐらいで事業に取り組むということだとは思いますが、計画内容について伺う。

産業課参事 防風保安林ですが、大東と大成にそれぞれあります。令和9年度以降になります

問 まだLED化しなければならぬ施設があるのか伺う。

総務課参事 LED化については、今後も予定されている施設があります

今現在、大体7割程度は終わっていますが、来年度以降に予定している施設もありますので、できるだけ早めに終わらせたいとは考えています

ただ、ある程度、水銀灯の在庫をストックしているような施設もあることから、まだ3割ほどLED化が終わっていない状況です。



多世代交流複合施設整備事業

松岡議員

問 研修会館解体工事実施設計委託料の中には、ゲートボールセンターの分も含まれているのか伺う。

まちづくり推進室長 ゲートボールセンターも含め、解体工事実施設計となっています。

問 多世代交流複合施設については、議会に対して進捗状況も含め一切説明がありません。町長の執行方針の中でも、

丁寧な説明をするべきというところが出ていました。もう少し丁寧な説明があってもいいのではないかとと思いますが、考えを伺う。

町長

今回の現在の研修会館、ゲートボールセンター含め敷地一帯での整備事業、今回は、多世代交流型の施設でありますけれども、本当に大きな事業でありまして、これは当然、町民の皆さまにもご理解いただかなければならない。そうした中で進めていかなければならない事業であると私はそのように考えておりますので、今回、議会の方に、きちんとした説明がされていないということについては、真摯に反省させていただきまして、これからしっかりと、適宜、議員の皆さま、そして様々な手段を用いまして、町民の皆さまにもお示ししながら進めてまいりたいと思います。

議会の傍聴はお気軽に!

- ◆定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれます。お気軽に傍聴においでください。
- ◆YouTubeを活用し、本会議のインターネット中継を行っています。パソコン、スマートフォン等でご覧いただけます。

9月定例会は、**9月15日(火)**から開かれる予定です。



大空町議会
YouTube

要望意見書

「ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める要望意見書」について可決しました。

継続費繰越計算書の報告

農業構造改善センター大規模改修事業について、令和7年度の残額2,794万4千円を令和8年度へ繰り越した報告がありました。

繰越明許費繰越計算書の報告

戸籍住民基本台帳管理事業など3事業が年度内に完了したため、9,339万5千円を令和8年度へ繰り越した報告がありました。

法人の経営状況報告

めまんべつ産業開発公社、東藻琴芝桜公園管理公社の経営状況について、報告がありました。

経営状況の主な質疑

東藻琴芝桜公園管理公社の経営状況

岩原議員

問 天候不順により、入園料の収入減少分の補正を追加で行いました。今後同じように町からずっと支援をしていかなければならないのか、どこまで支援をしなければならぬのかという懸念があるので、収益性に向けた計画について伺う。

地域振興課参事

令和7年度においては、大変な天候不順などにより、芝桜まつり期間中の入園料徴収者については、4万9,232人となり、令和6年度と比較すると1万9,314人の減少となりました。入場料収入は、約550万円の減少となったところで、また、ゴーカートや遊覧車等すべてのアトラクションの利用者についても、当初の見込みを大きく下回ったところです。芝桜管理公社といたしましては、そのような状

況下の中、職員のシフトの見直しなどはもちろんのこと、光熱水費、通信費、経常的経費の抑制に努めてきましたが、収入のほとんどを入園料収入とアトラクション収入で賄っている会社としては、有料入場者数の大幅な減少に対応するまでには至らなかった状況です。

今後におきましても、やはり天候に左右される施設ではありますが、営業努力などをし、できるだけ指定管理料が増えることのないような経営を目指していくということです。ご理解をいただきたいと思います。

問

苗畑の管理については、専門家の方の助言をいただいて、回復に向かっているというようなお話もありました。芝桜の復興に向けた植栽計画など、どのように考えているのか伺う。

地域振興課参事

苗畑の管理については、干ばつやコガネムシの被害などの影響により、令和4年度から満開宣言が出せない

状況が続いている芝桜公園ですが、芝桜の活性化に向けて、町内3か所の圃場で苗の植え込みを行い、2〜3年の生育管理を経て、園内に植え替えを行ってききました。

そのような中、土壌改良に向け、東京農業大学や農業改良普及センターなど、専門機関のご指導のほか、町内で花づくりをされている方などからのご助言をいただいております。専門家の助言に

替えをするということの難しさの課題もあります。今後も専門機関のご指導をいただき、土壌改良を進め、町民ボランティア等のご協力をいただきながら、植え替えを進めていきたいということです。ご理解をお願いいたします。

例月出納検査報告

2月から4月までの現金の出納状況および基金の状況について、検査結果の報告がありました。





大空高校生に対する大学等 支援制度の創設について

かわむら じゅん
川村 淳 議員



川村議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。

飛行機人を育むという理念を教育だけで終わらせず、未来へ飛び立つ子どもたちを応援することが重要と考えます。

教員 大空高校の進路状況は、毎年把握しており、令和5年度から令和7年度までの3年間で、卒業生95人中66人が進学し、進学率は69.5%となっています。進学に伴う費用は、国公立大学でも初年度約280万円から320万円、私立大学では、約330万円

問 大空高校は、開校以来、進学希望者が約8割、大学進学希望者も約6割に達するなど成果を上げています。しかし、大学進学には入学金や授業料のほか、引っ越し費用や居住費など多額の初期費用が必要であり、地元から地方へ進学する家庭には大きな負担となっています。そこで、町内出身の大空高校卒業生を対象とした給付型進学支援制度の創設、さらに高校魅力化政策として制度を位置づける考えについて伺う。

町長 町では、奨学金返済支援制度を実施してきましたが、定住につながらない事例が多く、令和7年度で制度を終了しました。進学時の給付型支援については、現時点で創設する考えはありません。町内の生徒を呼び込むた

から390万円程度となり、保護者の経済的負担は非常に大きいものと認識しています。町では、無利子奨学金制度や教育資金借入時の保証料・利子補助を実施していますが、新たな給付型支援制度については、財政状況や他の行政課題とのバランスを考えると、現時点では難しいと考えています。また、高校魅力化は、経済的支援ではなく、公設塾や留学制度、特色ある教育内容など「学びの充実」を中心に進めていく考えです。

教員 教育委員会では、中学生の高校見学、公設塾の無料開放、交流事業などを進め、町内の子どもたちが大空高校を進路として選びなくなる

問 進学実績が向上している今だからこそ、高校魅力化の新たな施策として、地元中学校から大空高校へ進学した生徒を対象に、大学進学を後押しする制度を検討すべきではないでしょうか。また、「飛行機人を育む」という理念を具体化するためにも、単なる生活支援や経済的支援ではなく、地域人材への投資として、町独自の進学支援制度を創設する考えはないか伺う。

問 大空高校は、「飛行機人を育む」という理念のもと、地域の子どもたちを未来へ送り出し、その成果は、進学実績として着実に表れています。子どもたちの挑戦を町として応援する姿勢を示すことは、生徒や保護者、



大空高校「夏空祭」総合的な探究発表会

町長 大空高校に通う町内生徒だけを対象とした支援制度は、他校へ進学する町民との公平性を考えると難しいと考えています。一方で、大空高校で学びたいと考える学校づくりを進めることは重要であり、特色ある教育や魅力ある学校運営を今後も支援していきます。

町長 現時点で、進学支援制度の創設は考えていませんが、限られた財源の中で、大空高校の魅力向上につながる取り組みを継続し、生徒が「学びたい」と考える学校づくりを支援していきます。

飛行機人を育む新たな制度を 町長▼現時点での制度創設は難しい



女満別研修会館の 建て替えについて

なかにし まさかつ
仲西 政克 議員



仲西議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。

町民にとって本当に必要な施設を作っていただきたい。

老人福祉センター機能、商工会、社会福祉協議会といった地域を支える主要な機能を一体的に集約し、さらに日常的な利便性を高める観点から、コンビニエンスストアの導入を視野に入れた施設として検討を進めています。これまで町内に分散していた機能を集約することで、施設管理などの効率化による経費の抑制を図り、町民皆さまの移動負担の軽減につながるものです。

町長 本町に新たな施設が必要なのか、既存施設の活用で対応できないのかといったご意見も当然であると認識しています。建設予算については、現時点で総額をお示しで

町長 老人福祉センター機能、商工会、社会福祉協議会といった地域を支える主要な機能を一体的に集約し、さらに日常的な利便性を高める観点から、コンビニエンスストアの導入を視野に入れた施設として検討を進めています。これまで町内に分散していた機能を集約することで、施設管理などの効率化による経費の抑制を図り、町民皆さまの移動負担の軽減につながるものです。

問 女満別地区の中心に町民が集まれるスペースとして町の散らばっている施設を一つにし、人件費の削減、移動距離の短縮など新しい町の建物として大変期待しているところですが、どのような建物をイメージしているのか伺う。

問 町の財政が逼迫し、行政サービスの低下につながらないか伺う。

きる段階にはございませう。本施設は、複合施設でもあることから、導入する機能や規模によって事業費は大きく変動するものであり、今後、費用対効果や将来的な維持管理コストも十分に精査しながら、適正な規模感を見極めていきたいと思えます。財源については、国の交付金や補助制度の活用を前提として検討を進めており、地域づくりや福祉、賑わい創出といった複合的な機能を有する施設であることから、活用可能な補助制度を幅広く調査し、最大限の財源確保に努めていきます。将来の人口構造や地域ニーズを見据え、持続可能で真に必要なとされる施設整備となるよう、慎重かつ着実に検討を進めていきます。

町長 分散している施設の機能を集約することにより、維持管理費などの効率化を図り、将来にわたる財政負担の抑制につなげていくことを目的としています。実施設計段階においても、コストの適正化に努めていきます。また、財源については、国の交付金や補助制度の活用を前提とし、町の実質的な負担を可能な限り軽減しながら事業を進めていく考えです。



女満別研修会館・女満別ゲートボールセンター

町長 重要なのは、短期的な施設だけではなく、長期的な財政運営の視点であり、施設の集約による効率化とサービス機能の強化を同時に図ること、結果として町民皆さまに対する様々な行政サービスを低

問 建設費が、計画をはるかに上回るようなことが起きた場合は、再検討する考えはあるのか伺う。

町長

社会経済情勢や建設コストの動向を十分に見極めながら、事業内容や規模の見直しを含め、柔軟に対応していく考えです。

研修会館は必要か？財政は大丈夫なのか 町長▼内容を見極め精査しながら基本計画を策定していく

下させることなく、持続可能な行政サービスの維持向上につなげていく考えです。



町政執行方針について

もり か ゆう じ
森賀 祐司 議員



森賀議員の一般質問が YouTube で視聴できます。

町長2期目の最初の町政執行方針についての疑問について質問しました。

町長 企業誘致については、単に制度を整備し待つ姿勢だけではなく、町として主体的かつ積極的に働きかけていく

問 町長の町政執行方針について、次の二点について町長の考えを伺う。一つ目として、企業誘致の在り方の中で企業振興促進補助金の助成基準の見直しを行うとありましたが、補助金だけではなく積極的にこちら側から企業にアプローチをして誘致につなげるべきではないか。二つ目として、ゼロカーボン事業について、再生可能エネルギーゾーンングマップが示されましたが、基幹産業が農業である大空町では、太陽光発電の効率のよい場所は、優良農地であるため、ほとんどが保全エリアとなっています。ゼロカーボン達成のためにどのように進めていくつもりなのか伺う。

ことが重要であると認識しています。今回の企業振興促進補助金の要件見直しは、時代の変化や企業ニーズに対応し、より活用しやすい制度へと改善するものです。事業者と積極的に意見交換などを行い、地域の活力につなげてまいりたいと思っています。官民連携手法の導入を視野に入れながら、民間事業者のノウハウやネットワークを活用した誘致活動を推進してまいります。

ゼロカーボン達成のための考えについては、本町におきましては、基幹産業が農業であり、ゾーンングにおいては、農地の保全を最優先とし、相当部分を保全エリアとして位置づけました。一方で、ゼロカーボンの達成は重要な政策課題であり、その推進に取り組むべきであると認識しています。

町長 例え、データセンターなどを誘致することはできないでしょうか。北見市で開設した企業もありますし、AIの発展に伴い不可欠なデータセンターの需要もまだまだ伸びていくものと思います。

問 例え、データセンターなどを誘致することはできないでしょうか。北見市で開設した企業もありますし、AIの発展に伴い不可欠なデータセンターの需要もまだまだ伸びていくものと思います。

町長 本町が宣言し、またゼロカーボンを着実に推進していくためには、行政だけではなく、ご家庭、農業者、事業所、各分野がそれぞれの役割を果たしながら、町全体

補助金頼みではなく積極的にアプローチしては

町長▼町として積極的に働きかけることが重要

町長 データセンター 企業や団体の重要なデジタル情報を安全に保管・管理・運用するための専用施設。現代社会では、SNSや動画配信など多くのサービスがデータセンター上で運用されており、企業活動や生活に欠かせないインフラ。

で取り組んでいかなければ達成できないと思っています。

行政としては、計画の進行管理を適切に行い、各分野の取り組みを後押しするための制度設計や支援策の構築、さらには国や北海道の施策と連携を図りながら、全体の推進役としての役割を果たしていきたいと考えています。今後は、各分野の取り組みを個別に進めるのではなく、相互に連携させながら段階的に実証検証を行い、その成果を踏まえて、施策の拡充につなげていく考えです。



人口減少対策の取り組みについて

うえ ち ふみたか
上地 史隆 議員



上地議員の一般質問が YouTube で視聴できます。

消滅可能性自治体から脱するためには移住・定住しやすい町になる必要があります。

町長 本町の人口は6,183人となり、減少傾向が継続していることが示されました。本町の総合計画においては、将来のまちづくりの指標として10年後に5,300人規模の人口を目指すとしております。

若年層の流出防止と新たな定住促進について、当町においては、子育てに関する相談体制の充実、高校生世代までの医療費

問 北海道は5月29日に2025年国勢調査の速報値を公表しました。大空町が所属するオホーツク管内の人口については25万1,533人で、前回の調査より2万1,829人の減少となりました。本町においても、ほかの自治体と同様に人口減少が続いていますが、町が現在まで実施している施策の成果と課題をどのように捉えているのか伺う。

の無料化、こども園・小中学校の給食費の無償化、妊娠から出産に係る各種助成制度のほか、昨年度から定住促進助成金に子育て加算を追加するなど経済的負担軽減などの施策を実施し、子育て支援を充実させ、安心して子育てができる町として子育て世代に対する移住定住に力を入れております。

また、新たな定住促進についてですが、一点目は、移住体験住宅の整備です。現在使用されていない公営住宅や教職員住宅を有効活用し、新たなお試し移住住宅として整備を計画しています。二点目は、スポットワークを活用した関係人口の創出です。スポットワーク事業者によるお仕事留学として、都市部などから訪れていただき、農業を始めとした地域産業で働くことを通じて、町への理解や愛着を持っていただき、関係人口の創出、

町長 人口減少に伴い税収は減少し、同様の公共施設の維持やインフラの管理を続けていくことは、将来的に大きな財政負担となってしまう

問 国勢調査をもとに地方交付税が算定され、労働人口が減れば税収も減ります。その中で公共施設の統廃合、機能の集約、事業選択をしながら、どうやって賢く住民生活の質の維持と向上を図っていくのか伺う。

町長 移住に係るホームページやSNS、オゾライフについても、地域ブランディングと連携し、効果的な情報発信ができるように検討しているところです。町の魅力を認識いただき、町外の人に広めることができるよう、町内に向けたインナープロモーションを進め、大空町のブランドを高めていけるよう進めてまいりたい。

問 人口戦略会議は、若年女性が出産することが課題だと言っていますが。



新規就農者技術習得管理施設 (メルヘンの丘)

町長 都市部から地方への人の流れを生むことで、地域の担い手の確保や消費等の事業創出、関係人口の創出拡大を図れるなど、個人、自治体双方にメリットがあるものとして、国や北海道においても推進されています。先進自治体なども参考にしながら進めたい。

問 二地域居住生活の促進について、厚真町ではふるさと町民制度を行い、イベントや地域活動に参加してもらったり、支援する特定居住促進支援法人を指定しています。このような取り組みを行う考えはないか。



暮らしを支える専門技術人材の確保について

鈴木 秀之 議員



鈴木議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。

地域を支える、特にライフライン関係専門技術者の確保が重要との観点から質問しました。

町長 医療機関や介護施設等での人手不足解消を目的に人材の確保、定着に要した経費の一部を補助しています。

雇用に必要な経費として、町が2分の1を補助し、1年目50万円、2年目30万円、3年目10万円を上限として3年間補助しています。

令和7年度、介護福祉施設では新規採用者4人、2年目継続者6人を対象に、3施設に対し合計380万円交付しています。補助対象となった従事者10人のうち、退職した方は2人いますが、令和6年に採用された3人の特定技能外国人の方は、継続就労しており一定の成果を上げていると考えています。

問 大空町医療・介護人材確保事業での介護福祉施設における補助金の活用状況と、その成果について伺う。

町長▼関係団体と意見交換し将来を見据えて検討

地域の生活を支える人材育成策の充実を

問 水道事業や建設業、自動車整備事業等においても専門技術職の人材不足が課題となっており、地域生活を支える専門技術人材の確保と熟練技術者から次世代を担う若手技術者への技術継承についての現状認識について伺う。

地域生活を支える専門技術人材の確保と熟練技術者から次世代を担う若手技術者への技術継承についての現状認識について伺う。

町長 水道技術者や建設業技術者の人数や年齢は把握していませんが、今後、高齢化などにより専門技術者が不足し、大空町の水道や排水設備工事を実施できない業者が出てくることも考えられます。

現在、町内には指定給水装置工事業者が6社、排水設備指定工事店が7社あり、当面は、町内の水道や排水設備の維持管理に大きな影響はないと考えています。

問 地域を支える専門技術職の高齢化が進み、技術継承や若手人材の確保が課題です。若手人材に選ばれる職場づくりの推進や技術向上、技術継承のため、事業所等が行う資格取得、研修等に対する支援制度の検討について伺う。

町長 専門的な技能を有する人材の確保に特化はしていませんが、地域の雇用を促進する取り組みとして、近隣の自治体や経済団体、建設業協会などと協議会を組織し、技能や資格取得に係る講習会の開催、さらに、建築塗装、配管工事など多種多様な業種の専門分野における知識や技能を働きながら学び習得する就業訓練業務を運営する団体への支援も行っています。

また、大空町無料職業紹介所において紹介した雇用先へ就業された方に

対して、1年間の就業につき6万円を助成する継続就業助成金を創設し、地域内での就業継続を支援し、5年間で20件の実績を積み重ねており、単なる雇用維持にとどまらず、技術の蓄積と継承を促しています。

さらに、地域おこし協力隊制度を活用し、事業継承支援を進めており、後継者不足に悩む事業者と意欲ある人材のマッチングや、円滑な事業引継ぎに向けた支援を行っています。

問 既存制度の活用や周知をさらに進めるとともに、水道や建設、自動車整備など地域を支える専門技術者の確保と技術継承は、将来の住民生活を守る上で極めて重要です。ライフラインを支える専門技術者に特化した助成制度や研修制度創設の検討が必要だと考えます。



地域生活を支える専門技術人材

町長 生活インフラを守るべく、介護分野以外の水道事業や建設業、自動車整備事業等も町になくはないと考えます。

建設業協会等、関係団体の皆さまとも意見交換し、先を見据えた中で検討していきたいと考えています。



持続可能な地域医療体制の確保について

岩原 繁 議員



岩原議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。

労働者不足。外国人に依存するか、若者を育てるか。町民みんなで介護を支援する時代か…。

町長 各医療機関において、医療法に基づき配置する必要があるが、特に女満別中央病院の入院病床を維持する上で、各病床に必要とされる看護師の人数が基準を下回らないよう、既に求人を行っている状況であると承知しています。

今後10年程度を見据えた場合の課題は、看護師を目指す学生確保が困難となり、看護師養成学校が減少している現状や都市部への人材集中などから、医療従事者確保がますます難しくなるだけではなく、患者数の減少により病院の経営状況を改善するためには、病床を再編するなどにより効率的な運営体制とする必要があると考えています。

問 本町における医師・看護師等の医療従事者の確保状況と10年程度を見据えた場合の課題について伺う。

問 本町の人材確保対策の現状と今後の取り組みについて、また、将来的に地域定着を目的とした奨学金制度や修学資金貸付・援助制度の創設について伺う。

町長 本町は、医療介護人材確保事業補助金の交付により、医療機関が医療従事者を採用する際に必要な経費を3年間で100万円補助しています。このほか、医療環境等充実事業補助金で、人材確保に令和7年度以降500万円増額し、2500万円を補助しています。

次に、奨学金や修学資金貸付援助の検討については、さきに述べた医療環境等充実事業補助金を実施する場合には、かかる事業費を差し引く考えであれば実施できないことではありません。ただし、町が一方的に進めるだけでは効果的な対策と

なりません。病院はすでに独自の奨学金貸付制度があり、北海道に同様の制度もありますが、現段階では、町に対して奨学金や修学資金貸付援助を求められておりませんので、法人と協議する必要があります。

問 近隣には、日赤北見看護大学をはじめ医療・介護の分野において、大学や高校との連携による地域人材育成について伺う。

町長 学校を訪問し、町と病院職員と同行してPRすることは可能だと思いが、現実としては、道内の各赤十字病院が大規模な病院への就職が多い状況です。

魅力ある町であり、魅力ある職場環境であることが、勤務先として選択され、長く勤務することにつながると思います。

問 高齢化の進行により、病院だけではなく、住み慣れた地域で療養を継続できる体制づくりが求められています。町の在宅医療や訪問看護体制の現状と課題について伺う。

町長 女満別中央病院においては、入院病床があるため、医師が不在となることはできませんので、訪問診療は行っています。東藻琴診療所は、在宅療養支援療養所として在宅診療往診を行っています。



介護を支援する特定技能外国人従事者

シヨンと連携して診療を行っています。

また、在宅医療における課題につきましては、今以上にニーズが増えていくことが想定されているところではありますが、医師確保の問題もあり、医師の負担を軽減するため、診療環境を整えるための支援についても継続しなければならぬと考えているところがあります。

北海道町村議会議員研修会に参加

7月2日、札幌コンベンションセンターで北海道町村議会議員研修会が開催されました。
 関東学院大学 法学部地域創生学科教授 牧瀬 稔 氏による「地方議員への12の政策アイデアから人口維持を目指す実践事例」、ジャーナリスト 須田 慎一郎 氏による「どうなる政治・経済～日本再生のために何が必要か～」を演目とした講演があり、全議員が参加し受講しました。



牧瀬 稔 氏



須田 慎一郎 氏

施設見学

7月3日、東藻琴芝桜公園大規模改修の参考とするため、十勝ヒルズ（幕別町）、おけと勝山温泉ゆうゆ（置戸町）の施設を視察しました。



十勝ヒルズ



置戸勝山温泉ゆうゆ
トレーラーハウス



置戸勝山温泉ゆうゆ
コテージ

～議員と気軽に話してみませんか～

大空町議会では、町民の皆さんとの身近な議会を目指して、より多くの方から意見をお聴きする機会づくりを進めています。

団体からの要請に応じて開催する形式と、議会から団体などに開催をお願いする形式があります。議員は3班編成で、右の写真のとおりです。

懇談の希望がありましたら、各議員または議会事務局までお気軽にご連絡ください。

議会事務局 TEL 0152-77-8106

1 班



後藤議長



森賀議員



原本議員



深川議員

2 班



松岡副議長



岩原議員



上地議員



仲西議員

3 班



鈴木議員



福田議員



川村議員



大泉議員

令和8年
5月臨時会
5月25日

副町長に鈴木章夫氏(53歳)を選任

令和8年第3回臨時会では、人事案件などを審議し、可決しました。



YouTube の QR コードはこちら

副町長の選任

鈴木章夫氏（再任）の選任に同意しました。



監査委員の選任

原本哲己氏（新任）の選任に同意しました。



職員懲戒審査委員会委員の選任

6月19日で任期満了となることから、元氏充氏、廣川和寛氏、筆充清氏（すべて再任）の選任に同意しました。

物品の購入

職員業務用端末、除雪ドーザ、大空町立学校学習者用コンピュータ、スクールバスを購入することについて、可決しました。

工事請負契約の締結

大東公民館建設工事（新築工事）、水道施設建設工事（監視装置）の契約締結について、可決しました。

選挙

大空町選挙管理委員会委員及び補充員の当選人が決定しました。

○選挙管理委員会委員
丹羽多美男氏、奥田純子氏、藤井智靖氏、中川利佳子氏
○補充員
森 玲子氏、三村淳良氏、菊地勝二氏、鈴木真寿美氏

令和8年
7月臨時会
7月16日

公園団地町営住宅解体工事請負契約を可決



YouTube の QR コードはこちら

工事請負契約の締結

公園団地町営住宅解体工事の契約締結について、可決しました。

公園団地町営住宅解体工事

松岡議員

問

古い町営住宅なので、アスベストの含有があるのか、あった場合については、どのような工法で除去をするのか伺う。

建設

アスベストの関係ですが、外壁の既存の塗装の下地に含有が確認されました。ほかに基礎壁、煙突の塗装下地にも含有していました。工事の方法としては、足場を掛け、飛散しないように養生して仕上げ材は溶剤で撤去し、下地調整はケレン処理をして全部取り除くように考えています。

補正予算

令和8年度一般会計の補正予算について審議し、可決しました。

熊本県氷川町で震度7の地震がありました

令和8年7月28日（火）の午後4時27分頃、大空町の友好町である氷川町で最大震度7の大地震により甚大な被害が発生したとの報に接し、深い衝撃を受けております。

被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

氷川町の日も早い復旧・復興を心から願うとともに、町と連携を取りながら、議会としても必要な支援をして参ります。

まちの将来を見据えて

～総務厚生・産業建設文教 両常任委員会で「所管 事務調査」を実施しました～



7月14日に産業建設文教常任委員会、8月4日に総務厚生常任委員会が、それぞれ所管する事務の中から今チェックすべき施設等を調査しました。その内容について、主なものをお知らせいたします。

Q 所管事務調査とは？ 議会が自主的に常任委員会で所管する事務を取り上げ、積極的に調査するもの。

委員の認識や理解を深め、専門的審査を高めるために行います。

総務厚生常任委員会



川村委員 上地委員 岩原委員長 森賀副委員長 大泉委員 後藤議長



大空町障がい者支援拠点施設

①児童発達支援・放課後等デイサービス事業の現状

- ・町内初の児童発達支援・放課後等デイサービス事業所として、利用者数は順調に増加しており、保護者からは、身近な地域に相談・支援の場ができたことを評価する声が多いとの報告を受けました。
- ・施設設備の老朽化や児童向け設備の不足、職員数の不足、専門職の確保、利用ニーズと採算性の両立、防災体制などが課題となっているため、利用状況を見極めながら職員体制を充実させるとともに、現施設で明らかになった課題を将来の施設整備に反映していくことが求められていると感じました。



女満別中央病院

②女満別中央病院の施設設備状況

- ・外来点滴室や処置室などの基本的な治療室や、2階・3階の入院病棟も東側にはエアコンが設置されておらず、入院患者が快適とはいえない状態であり、従事している看護・介護職員等も暑さ対策は各自で行っている状況でした。エアコンの冷風を手作り通風ダクトにより休憩室等へ送っており、休憩室も狭く、30℃を超えることもあるとの報告を受けました。
- ・建築から28年経過した建物で老朽化もあり、建物の大規模な修繕と早急なエアコン設置に向けた対策が必要であると強く感じました。



東藻琴福祉社会

女満別福祉社会

③東藻琴福祉社会・女満別福祉社会の経営・人員確保状況

- ・東藻琴福祉社会では、介護学科の学生数の減少や交通の不便さによる実習生受入が停滞していること、また、買物環境の不便さ、公共交通や娯楽などの不足により外国人介護職員が退職するなど、人材確保や職員の定着への対策に苦慮している現状を確認しました。
- ・女満別福祉社会では、介護報酬単価の減額改定や物価高等の影響、介護職員不足による各種福祉サービス等の利用制限に伴い収入が減少。施設の老朽化に伴う修繕費用の増加などにより赤字決算が継続し、経営は悪化している状況にあるとの報告を受けました。



一般廃棄物最終処分場

④一般廃棄物最終処分場の状況

- ・最終処分場の埋立地は、平成16年に埋立容量34,900㎡で供用開始し、当初の埋立期間は平成31年までの予定だったが、分別の徹底により、令和15年度までの延命を図ることが出来るとの報告を受けました。
- ・昭和56年供用開始の旧埋め立て地についても1,594㎡の残余量があり、今後の課題としては、稼働中の埋立地が2箇所あることから、新規施設整備にあたっては、1箇所を終了させる必要があるとの報告を受けました。

産業建設文教常任委員会



松岡委員 深川委員 福田委員長 鈴木副委員長 原本委員 仲西委員 後藤議長



ひまわり温泉

①女満別農業構造改善センターのリニューアル

- ・温泉部分のみ5月2日からリニューアルオープンしており、その後の利用状況は、前年比130%の増となっています。町外からの利用者も増えているとの報告を受けました。
- ・現在、2階部分は改修中では見ることができませんでしたが、順調に工事は進んでおり、11月30日までの工事期間を待たずに終了できそうな状況であるとの報告を受けました。



東藻琴農業振興センター

②東藻琴農業振興センターの活用状況

- ・大空高校交流拠点施設において実施していた公設塾の場所を、東藻琴農業振興センターの2階に移動し、活用している状況について確認しました。
- ・大空高校に公設塾があるというのが一つの魅力であり、生徒たちは課題に対して誠実に取り組んでいるとの報告を受けました。
- ・Wi-Fi環境が整備されていなかったが、6月補正において議決されたことから、夏休み期間中に整備する予定であるとの報告を受けました。
- ・夏休み期間中には、中学生の公設塾利用も予定しているとの報告を受けました。



防風保安林

③東藻琴明生地区防風保安林の伐採状況

- ・防風保安林は、森林の公益的機能を維持し災害を防ぎ、安全な生活環境を守るための森林ですが、近年、倒木や農業の自動運転システム等に影響を及ぼす問題が生じており、伐採・間伐の要望があることから現状を確認しました。
- ・1年間に伐採できる面積が、大空町では19.54haと定められており、毎年伐採することができず、林帯幅20m以上の町有防風保安林の3割が伐期を過ぎても伐採できない状況にあると報告を受けました。



東藻琴芝桜公園

④東藻琴芝桜公園の現状

- ・大規模改修を控え、公園内の安全対策を最優先に考え、早急に改善しなければならない箇所を主に現地確認しました。
- ・遊覧車用道路と発着場位置、公園内の見晴台・木製階段、店舗や管理棟出入口の場所、大型バス駐車場整備場所など、課題や今後の計画について報告を受けました。
- ・近年、満開宣言が出せない状況にあることから、土壌管理や芝桜の植え替え作業を芝桜管理公社と連携を図りながら精力的に進めていくことを確認しました。

Voice 声

移住者の声



わたなべしんじ 渡邊慎司 さん・ま ゆ み 真由美 さん

(埼玉県所沢市から移住)

○大空町に移住先を決めた理由は？

友人が先に大空町に移住していて、遊びにおいでと誘われ、来町した時に移住体験ツアーに参加したことがきっかけです。

○大空町の好きなところは？

空が広くて、自然が豊かで、大地が果てしなく広いところが北海道らしくて気に入っています。関東とは比べものにならないほど、湿気も無く涼しく爽やかです。冬の雪景色も最高に素敵です!! スギ花粉が無い事が驚きでした!! 地元の方も移住者とか関係なく接してくれるので、楽しく生活を送ることができています。

○大空町に取り組んで欲しいことはありますか？

お試し暮らしの施設がメルヘンの丘にしかなかったので、空き家や公住とかを活用して整備して欲しいのと、若い人たちが来るには仕事が大事なので、これから必要なAIやデジタルのノウハウを持った人たちを募集したり、町で採用することでもいいのではないかと思います。また、要介護認定を受けている母と暮らしていますが、以前に住んでいたところでは、要介護認定を受けている方の自宅に業者が紙パンツを届けてくれ購入費も1割負担で済むので、経済的にも助かっていました。町でもそのような施策を検討して欲しいです。

大空町の碑

「大空町の碑（第2版）」が、令和8年3月に発刊。

合併20周年に合わせて大空町郷土・歴史文化保勝会が教育委員会の協力のもと作成されました。

これは、女満別・東藻琴両地区の歴史や文化など先人の思いが今なお人々の中に息づいている碑です。議会だよりを通じてその一部をご紹介します。

「農村乙女の像」（役場庁舎）

本像は、昭和30年農地改革10周年記念事業として美幌町出身の彫刻家「谷口百馬氏」に制作を依頼し旧女満別庁舎前庭に農民一同により建設されたものであるが、損傷甚だしく新庁舎建設に伴い撤去し補修を加えてここに保存したものである。この作品制作後、昭和60年11月「谷口尉馬」と改める。



一人ひとりに寄り添い
まごころのケアを
日々のくらしにやさらぎと
笑顔をお届けいたします

おおぞらであなたのくらしを支えるやさしい介護のパートナー
合同会社アレンジ
ケアプラン相談センターおおぞら
お問い合わせ 0152-77-3966

※民間企業からの有料広告を掲載しています。

編集後記

今年の6月は昨年とは違い涼しい日が多く、北海道らしい夏がやってきましたが、7月は気温が上がりがり、大空町の小麦畑も収穫を終え、これから秋に向かっていくのだなと感じます。東藻琴の芝桜まつり、女満別の観光夏まつりも好評に終わり、関係者の皆さん、ありがとうございました。

私は、初めての定例会、議員研修、議会広報の編集など、日々新鮮な気持ちと勉強しなければならぬことが多くあり、充実した毎日を感じています。

議会だよりが、多くの町民の方に読んでいただけるよう、広報委員一丸となって良いものを作っていきたいので、町民の皆さんの意見をお聞かせください。最後まで読んでいただきありがとうございます。

(仲西)

議会広報常任委員会

私たちが編集しました

議長 後藤 忍(発行責任者)
委員長 上地 史隆
副委員長 仲西 政克
委員 岩原 繁
委員 川村 淳
委員 大泉 知功

今後ともよろしくお願いいたします。

